

科目ナンバー	C5202	要件	保育必修	授業形態	実技	対象学生	IIACD
授業科目	保育表現技術 (身体表現)						
実施期	前期	単位数	1単位	授業担当者	林 悠子		
【科目の概要】 ダンスや表現活動の実践や創作を通して、子どもたちに必要な動きや表現活動を育てる体験をする。個人、またはグループで作品を創ったり、保育者としての実践的な表現あそびの立案・指導を通じてその方法を学び合う。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	ダンスやイメージによる表現活動の楽しさを学び、様々な身体表現の基礎を理解している。						1-d
イ	様々な表現を応用し、乳幼児の表現を引き出す力を身に付けている。						2-d
ウ	年齢や発達段階に応じた手遊びや表現遊びを計画し、指導することができる。						4-c
【授業の内容】					【実施日】	【授業時間外学習の内容】	
1	講義に関する注意説明。保育幼児教育における身体表現について			月 日	シラバスをよく読んでおくこと。		
2	表現①：感情・感覚			月 日	幼児における身体表現の身近な例を探す。(1時間)		
3	表現②：模倣			月 日			
4	表現③：具体的表現			月 日	身近なものをを用いた身体表現を考える。(1時間)		
5	表現④：道具を用いた表現あそび			月 日			
6	表現⑤：絵本や劇あそび			月 日	図書館等で題材を探し、題材の概要をまとめる。(1時間)		
7	身体表現の指導：遊びから指導への繋げ方の確認			月 日	適切な言葉かけや環境設定などを復習する。		
8	グループでの指導立案①：題材探し			月 日	題材を探し、グループで方法を考える。(1時間)		
9	グループでの指導立案②：立案 言葉かけや環境設定			月 日	作成した指導案に基づき練習をする。(0.5時間)		
10	グループでの指導実践①：各グループによる実践(発表)と振り返り			月 日	発表を振り返る。		
11	グループでの指導実践②：各グループによる実践(発表)と振り返り			月 日			
12	グループでの指導実践③：各グループによる実践(発表)と振り返り			月 日			
13	グループでの指導実践④：各グループによる実践(発表)と振り返り			月 日			
14	指導実践の評価と反省(発表と相互評価)			月 日	それぞれの発表を振り返り、自身の指導力向上に努める。		
15	講義のまとめとフィードバック			月 日	講義について振り返る。(1時間)		
16				月 日			
【教科書・テキスト】 参考資料を適宜配付する。				【成績評価の方法】 平常点[ミニ発表およびレポート・授業態度]：30% 指導実践課題 [内容：30% レポート：40%]			
【参考書・教材】 「豊かな感性を育む 身体表現遊び」 青木理子ら 共著 (ぎょうせい) 「あたらしい表現遊び」 小谷隆真 著 (すずき出版)							
【履修要件及び履修上の注意事項】 ジャージ等動きやすい服装で受講すること(ジーンズやスカート等、普段着での受講は原則として認めない)。							
【履修上の遵守事項】 当該授業受講にあたり、15分以上遅刻をした学生は欠席扱いとする。着替えは更衣室で行い、私物はロッカーで管理すること(エクササイズルームには資料や筆記用具等必要な物のみ持ち込むこと)。遵守事項については平常点に加味する。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：アリーナ2階 A3 林 研究室 オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル 1	レベル 2	レベル 3
ア	乳幼児における身体表現の理解		ダンスやイメージを用いた身体表現の役割や表現の種類を理解している。	ダンスやイメージを用いた身体表現の役割や表現の種類を知り、自らその表現を行うことができる。	発育発達や狙いに応じたダンスやイメージを用いて、身体表現遊びの指導を行うことができる。
イ	身体表現の基礎知識を用いた表現指導の実践力		身体表現の基礎知識を用いた、乳幼児の表現指導を知っている。	身体表現の基礎知識を用いて、乳幼児を想定した指導をすることができる。	乳幼児の表現指導を大学生相手に展開し、実習やちびっこ広場等の実践の場でも行うことができる。
ウ	手遊びや表現遊びの指導力		乳幼児の発達段階やその年齢の特徴に応じた遊びを知っている。	乳幼児の発達段階やその年齢の特徴に応じて、手遊びや表現遊び等の立案と指導ができる。	様々な手遊びや表現遊び等の立案と指導実践を行い、実習に向けて修正することができる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					